

2024年2月7日

各位

会社名 デンカ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 今井 俊夫  
(コード4061:東証プライム)  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長  
山本 浩之  
(電話 03-5290-5511)

## 海外連結子会社におけるノロウイルスワクチン開発中止および特別損失の計上に関するお知らせ

デンカ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:今井 俊夫)は、連結子会社である Icon Genetics GmbH(本社:ドイツ ザクセン=アンハルト州ハレ市、CEO:蛭田 和幸、以下「アイコン社」)で開発を進めていたノロウイルスワクチンの開発を中止することを決定し、2024年3月期第3四半期累計期間において特別損失を計上いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本件による、鶏卵法での季節性インフルエンザワクチンの製造・供給への影響はありません。

### 記

#### 1. 経緯

当社はノロウイルスワクチンをはじめとするワクチン開発と診断薬原料の開発を目的として植物を用いた遺伝子組み換えによるタンパク質発現技術を有するアイコン社を2015年に取得し、各種診断薬原料の開発とノロウイルスワクチンの開発を進めてきました。ノロウイルスワクチンの開発においては、2020年9月に第I相臨床試験を開始し、所期の評価基準を達成したことから、第II相開始の準備を進めておりました。

しかしながら、新型コロナウイルスパンデミックが欧州における臨床試験の実施環境に大きな影響を与え、臨床試験第II相以降のスケジュールが大幅に遅れる見通しとなったことに加え、臨床試験を含む開発費用も当初想定よりも大きくなることが明らかになりました。また、mRNA等の新規モダリティ(\*)のワクチン開発が急激に進展し、ノロウイルスワクチンにおいても競合が激化する事が想定されております。

このような状況変化を織り込んで事業性の再評価を行った結果、ノロウイルスワクチンの自社開発を中止し、がん治療用ウイルス製剤や検査試薬等の他注力事業に経営資源を配分することが合理的であるとの判断に至り、自社によるノロウイルスワクチンの開発を中止することを決定しました。

(\*)モダリティ・・・医薬品の製造や開発における基盤技術、もしくはそれに基づく医薬品の分類

#### 2. 今後の予定

ノロウイルスワクチン開発については、自社開発は中止いたしますが、他社への導出も含めて今までの開発成果の有効活用の方法を探っていく方針です。アイコン社技術を用いた診断薬原料の開発は、既に複数製品の原料の切り替えに目途が立っており、引き続き鋭意開発を進めてまいります。

ノロウイルス以外のワクチンについては、次世代 mRNA 技術を用いた季節性インフルエンザワクチンの共同開発など、他のモダリティによるワクチン開発と並行して検討を進めてまいります。

### 3. 特別損失の計上について

ノロウイルスワクチン開発の中止に伴い、当初想定されていた収益を見込めなくなったため、2024年3月期第3四半期累計期間においてアイコン社に係るのれんの減損損失等67億86百万円を特別損失として計上いたしました。なお、当社連結業績に与える影響につきましては、本日同時刻に開示しました「2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を併せて参照ください。

### 4. アイコン社の概要

(1) 名 称	Icon Genetics GmbH (アイコン ジェネティクス ゲーエムベーハー)
(2) 所 在 地	ドイツ ザクセン=アンハルト州ハレ市
(3) 代表者の役職・氏名	CEO 蛭田 和幸
(4) 事 業 内 容	バイオ医薬品の研究開発・研究受託サービスの提供
(5) 資 本 金	25,000 ユーロ
(6) 設 立 年	1999 年
(7) 株 主 構 成	デンカ株式会社 100%

以 上